

一生に一度、本物の美しさを

Christmas concert

音の森フィルハーモニー

×

音の森 KIDS

ゲスト 指揮：松村優吾

歌手：上島緑、田中裕太、Paolo Andrea Di Pietro

2016.12.25 (sun)

15:00 開場 15:30 開演

神奈川県民ホール 大ホール

チケット 大人：2500 円 小人（中学生以下）：1500 円

申し込み 下記の URL にて、チケットぴあを経由してお申し込みください。

[http://ticket.pia.jp/pia/ticketInformation.do?
eventCd=1643588&rlsCd=001&lotRlsCd=](http://ticket.pia.jp/pia/ticketInformation.do?eventCd=1643588&rlsCd=001&lotRlsCd=)
(10月25日(火)より販売開始)



プログラム

◆ 第一部 - 童声合唱と小オーケストラ

《ノエル》クリスマスキャロル曲集（第一集）坂村将介（さかむらまさゆき）編作
《ボルカ》ヨーロッパ民謡曲集（第二集）坂村将介（さかむらまさゆき）編作
《キリエ》中世ルネサンス聖歌集（第二集）坂村将介（さかむらまさゆき）編作

◆ 第二部 - オーケストラ

《少作曲家のパレット》音の森KIDSの作品より
J. ビゼー 歌劇《カルメン》より（抜粋）

音の森フィルハーモニーは、本物に触れてほしいという思いから、活躍するプロの奏者たちを集めて設立されたオーケストラです。今年も「本物を体感し、一生を彩る原体験」を子どもたちに味わってほしいという願いを込めて、第二回となる音の森スペシャルクリスマスコンサートを開催します。

第一部では子どもたちとオーケストラが共演して、心躍らせるクリスマスキャロル、異国情緒あふれるヨーロッパの民謡、そしていにしへの教会音楽をお届けします。10ヶ国語を越える言語で歌われる、美しい言葉とメロディーは、何度口ずさんでも飽きることはありません。

第二部では、フルオーケストラが活躍する、二つの作品をお届けします。一つ目に、『少作曲家のパレット』と題して、音の森音楽教室の子どもたちがつくった作品を、オーケストラバージョンでご紹介します！子どもたちが毎週作曲に取り組む中で生まれた、きらめくフレーズの数々は、きっと心に残るものとなるはずです。

二つ目に、ビゼーのオペラ『カルメン』から、特によく知られた選りすぐりの名曲をお送りします。今回はソリスト歌手も招いて、豪華な編成を揃えました。3人の歌手とオーケストラが演奏する情熱的なスペイン情緒を、どうぞ堪能ください。

本物の音楽と子どもたちの歌声が、皆様の心の琴線に触れる一日になることを願っております。



代表挨拶

念願であった、子どもたちがオーケストラの音に包まれる体験。圧倒的な響きの中に身を置くことは、一生を彩るほどの価値となるものです。私自身、中学校1年生の時に、オランダの大聖堂で、聖歌隊とオーケストラとともに演奏をしました。当時の感動的な体験は今もなお心に刻み込まれています。あの素晴らしい経験を子どもたちにも…と思いつけて10年以上が経ちました。

昨年に引き続き、共演する指揮者の松村優吾とは高校からの同級生。再び海外から駆けつけてくれます。音楽を通して今後も続くこの縁に、本当に感謝しています。

今日という日が子どもたちの心を豊かにするかけがえのない原体験の一つとなり、また、子どもたち同士が、音楽を通じて心をかよわせ、その繋がりが広がっていく。今回のコンサートがそのきっかけになればと心から願っております (代表 笹森壮大)

音の森 KIDS

音の森 KIDS とは、花まるメソッド音の森で、音楽教室 (集団授業：小学校1～3年生)、実技レッスン (個別：3歳～) に通う子どもたちです。花まるメソッドに基づいて、子どもたちの特性を研究したカリキュラムで指導が行われています。特に音楽教室では、民謡歌唱教材『ぼるか』と教会音楽歌唱教材『きりえ』という教材を使って、クラシック音楽の土壌であるヨーロッパの言葉を原語そのままに子どもたちが歌っています。今回は、今年度の教材で取り組んでいる名曲の数々を、オーケストラとの共演でお届けします。また、花まるグループに通う子どもたちも加わる演奏もお楽しみください。



指揮：松村優吾 (まつむらゆうご)

桐朋女子高等学校音楽科作曲専攻を経て、桐朋学園大学音楽学部音楽学科指揮専攻を卒業後、イタリア国立ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ音楽院 Conservatorio di Musica "Giuseppe Verdi" di Milano 大学院修士課程に在学中。

指揮を黒岩英臣、Gianluigi Gelmetti、Vittorio Parisi、Dejan Savic、作曲を安良岡章夫、安藤久義の各氏に師事。2012年9月、イタリア政府主催の全芸術部門グランプリを決める Premio Nazionale delle Arti (イタリア芸術賞) 本選指揮部門に於いて第二位入賞。また同時に聴衆賞を受賞。2015年5月、ルーマニアのコンスタンツァで行われた Black Sea Opera Conducting Competition に於いて入賞、及び栄誉賞受賞。これまでにポメリヅムジカーリ管弦楽団、ブルガリア国立ルセ歌劇場等を指揮。



歌手：上島緑 (かみしまどり) メゾソプラノ

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時に同声会賞を受賞し、東京藝術大学大学院修士課程独唱科を H.Duparc の研究で修了。2015年1月よりイタリア若手オペラ歌手の登竜門と言われるスポレート実験歌劇場にて全額援助の研修生として研鑽を積む。オペラでは「フィガロの結婚」ケルビーノ、モンテヴェルディ「ウリッセの帰還」王女ベネロベ、宗教曲ではモーツァルト「レクイエム」、ベートーベン「第九」、昨年の11月には、ヴェルディ「レクイエム」が初演されたミラノサンマルコ教会にてスカラ座天井敷交友の合唱団、オーケストラとヴィヴァルディの「グローリア」、ヘンデルの「メサイア」のソリストとして出演。ミラノ在住。

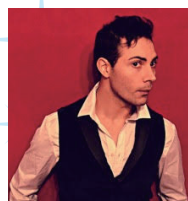


歌手：田中裕太 (たなかゆうた) テノール

東京都小平市出身。高校一年秋より声楽を学び始める。

東京藝術大学音楽学部声楽科入学。卒業後、イタリア・ミラノへ渡り研鑽を積み、ミラノ、ブレーシャ、パヴィア等の市においてコンサートに出演する。佐野正一、川上洋司、Bruno dal monte 各氏に師事。

これまでに、ヴェルディ作曲「椿姫」アルフレード役、ドニゼッティ作曲「愛の妙薬」ネモリーノ役、「ランメルモールのルチア」エドガルド役、モーツァルト作曲「コジ・ファン・トゥッテ」フェランド役、「ドン・ジョヴァンニ」ドン・オッターヴィオ役、ブッチーニ作曲「ラ・ボエーム」ロドルフォ役等において出演した。イタリア・ミラノ市在住。



歌手：Paolo Andrea Di Pietro (パオロアンドレア・ディピエトロ) バス

イタリアのミラノに生まれる。国立ミラノ・ヴェルディ音楽院で研鑽を積む。2011年よりアンジェロ・ロフォレーゼに師事。2014年、国立ミラノ大学国際言語文化研究専攻学科卒業。2012年、Cappellin 声楽コンクールで優勝し副賞として、『フィガロの結婚』のタイトルロールを歌い、オペラデビューを果たす。2013年、ポローニャ国立歌劇場やモデナのバヴァロッティ歌劇場を含む、イタリアの約20の主要歌劇場で『さまよえるオランダ人』のダラント役を歌い好評を博す。日本でのオペラデビューは、2015年の文化庁委託事業新進芸術家育成事業オペラ『ラ・ボエーム』のコッリーネ役である。